

災害拠点病院

地域災害医療センター

当センターは、地域災害拠点病院(地域災害医療センター)として千葉県より平成 21 年 8 月 10 日に指定を受けました。災害医療を提供するにあたり大規模災害発生時に来院する多数の傷病者に対し迅速・的確・かつ臨機応変に対応できるよう病院機能確保を最大限に行い、最善を尽くします。

求められる機能

- ✦ 災害医療を行うための高度な診療機能
- ✦ 被災地からの重症傷病者の受け入れ機能
- ✦ ヘリ等による広域搬送への対応機能
- ✦ 医療救護班(DMAT)の派遣機能
- ✦ 地域医療機関への応急用資器材の貸し出し機能



当センターの災害時基準

- ✦ 『大規模災害時の職員参集基準』千葉県八千代市内において震度 6 弱以上が観測された場合。自衛消防本部・災害医療・医療支援・ライフライン等の責任者クラス及び近隣在住(当センターを中心に半径 1Km以内)の職員は自主登院します。
- ✦ 『通常医療体制から災害医療体制へ切り替わる基準』大規模地震想定で震度 6 弱以上(レベル 3)の場合。その際、通常時の組織体制(局・部・各科・室・ユニット・課など)は一旦停止し、災害医療体制に一元化されます。
- ✦ 『災害レベルの想定と決定』地震や火災など、その災害が病院機能へ与えると思われる影響の大きさによって、予めレベル 1~3 の段階に災害レベル想定をします。なお、災害レベルの想定は一例にすぎず、実災害の種類や状況など様々な条件によって変わります。
- ✦ 『時間経過に伴う対応の変化』災害発生からの時間経過をフェーズ 1~3 に設定して対応します。フェーズ 1 を災害発生から 1,2 時間。フェーズ 2 をフェーズ 1 から 24 時間。フェーズ 3 をフェーズ 2 から 72 時間。職員はアクションカードを使って行動します。

医療救護班(DMAT)

医療救護班(DMAT=Disaster Medical Assistance team)とは、大規模な災害や事故などの発生時に、被災地に迅速に駆けつけ救急治療を行うための専門的な訓練を受けている災害派遣医療チームのことです。当センターは、平成 24 年 7 月 5 日より地域災害医療センターとしてDMAT隊を 1 チーム編成しています。チームの構成は医師 4 名、看護師 2 名、業務調整員 2 名です。

